

もくじ

- ・ つきよ
月夜とめがね

つきよ
月夜とめがね

げんさく 原作： おがわ みめい
小川 未明

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

みどり のはら つき ひかり ふ そそ おだ よる
緑の野原に、月の光が降り注ぐ、穏やかな夜の
こと。まちはず いっけん いえ ひとり
住んでいました。おばあさんはまどべ すわ め もの
をしておりました。テーブルの上の置き時計が、
ちい おと な あた しず
小さな音を鳴らすだけで、辺りは静まりかえって
いました。



5

「ふう・・なかなか、^{はり いと とお}針に糸が通らないわ。
^{とし}もう年だから、^{め わる}目が悪くなってきたのかね」

ふと、トントンと、^{い ぐち}入り口のドアをたたく^{おと}音が
^き聞こえてきました。

「おや、なんでしょう。きっと^{かぜ おと}風の音ね。
^{じかん たず}こんな時間に訪ねてくる人^{ひと}なんて、いやしないわ」

すると今度は、^{こんど まど そと ちい あしおと おとこ ひと}窓の外で、小さな足音と、男の人
^{こえ き}の音が聞こえてきました。おばあさんは^{まど あ}窓を開け
ました。

